

■シリーズのご紹介

パネルウォーマーは、飼育環境や条件に合わせて使いやすいように、4種類の大きさをご用意しております。

品名	消費電力(最大値)	設定温度	パネルサイズ(mm)	適応飼育容器サイズ※
パネルウォーマー 8W	8W	約25℃~45℃ (温度設定機能付き)	160×160	30cm以下
パネルウォーマー 14W	14W		155×240	30~45cm
パネルウォーマー 16W	16W		240×240	45~60cm
パネルウォーマー 32W	32W		240×480	60~90cm

※ 設定温度許容誤差はいずれも±5℃です。 ※ 容器サイズは目安です。
 ※ 適応飼育容器サイズの目安はあくまでも床下使用時の物です。容器の外背面、側面での使用時は異なります。
 ※ 厳寒期等、外気や床材の熱吸収量が多い時は、目的温度に達するまでに時間が掛かる場合や温度が上がりにくい場合がございます。他の保温器具の併用をおすすめします。

保証書欄



販売者：株式会社 三晃商会
 〒562-0035 大阪府箕面市船場東2-3-54
 TEL:072-728-3001 www.sanko-wild.com



爬虫類・小動物用 パネルヒーター

パネルウォーマー panel warmer

取扱説明書
保証書

この度は、当社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
 当社製品をご使用になる人、飼育する生き物、また別の人や品物への損害を未然に防ぐ為にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用下さい。
 なお、この説明書には保証書が付属しております。お買い上げ精算時のレシートと共に大切に保管して下さい。



警告

感電や火災等の重大な事故を回避するために必ずお守り下さい。

- ・本品は爬虫類・両生類・小動物・鳥類用の保温器具です。他の用途には使用しないで下さい。
- ・電源は、AC100V：50/60Hz(家庭用電源)です。それ以外の電源では使用しないで下さい。
- ・水中及び水の掛かる場所、多湿になる場所、屋外では使用しないで下さい。
- ・本品は飼育容器の床下に置いて使用して下さい。飼育容器の中での使用は避けて下さい。
(発熱体やコントローラー、電源コードの破損、漏電、飼育生体への低温やけどの原因となります。)
- ・本品は精密機械ですので、取り扱いには十分ご注意下さい。本品のいかなる部分も分解・改造をしないで下さい。また、本品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。
- ・お子様には操作や設置をさせないで下さい。また、お子様がいたがらないように十分注意して下さい。
- ・発熱体(パネルシート部)を押し曲げたり、カッターやハサミ等でカットしないで下さい。
- ・電源コード、プラグ、発熱体に水が掛かった時は、使用を中止して下さい。
- ・濡れた手でプラグやコンセントの抜き差しはしないで下さい。
- ・電源コードを束ねたり、飼育容器で押し潰さないようにして下さい。
- ・本品の設置時はプラグを抜いて、電源を切った状態で行って下さい。
- ・コンセントからプラグを抜く時は電源コードを強く引っ張らないで下さい。
- ・タコ足配線での使用は避け、電源プラグやコンセントにホコリやゴミが付着しないように確認・清掃を行って下さい。



ご注意

飼育生体や本製品の損傷回避のために必ずお守り下さい。

- ・発熱体の表面温度と飼育容器内の床温度は設置条件で異なります。目的の保温位置に温度計を設置して、必ず確認するようにして下さい。
- ・本品を使用する際、生体が床温度を熱く感じる時に生体自身が熱から退避できるように、飼育容器の床面積の半分以下の範囲で設置するようにして下さい。床面積の全体を保温する範囲に設置しないで下さい。

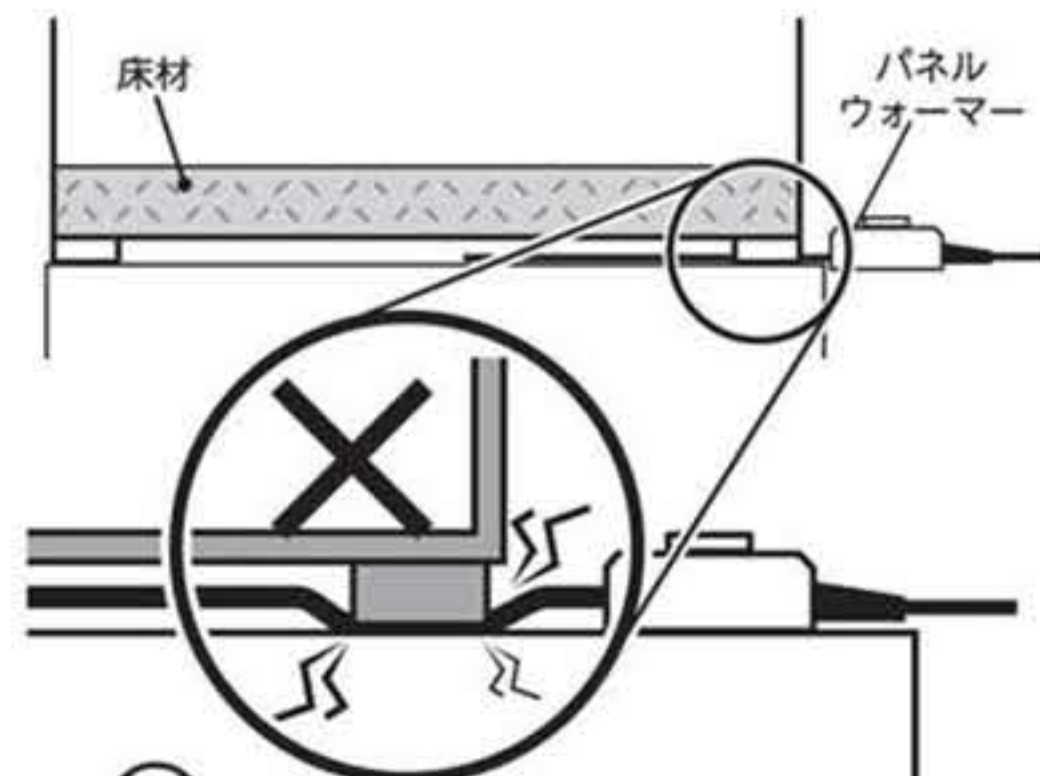


- ・発熱面の温度は、設定温度(誤差含む)以上には上昇しませんが、飼育容器を覆って密閉された状態では設定温度以上に上昇する場合があります。
パネル本体を含めて、全体を密閉した状態では使用しないで下さい。
- ・本品は、飼育容器の床面の一部を補足的に温めるものです。飼育環境全体の空気を暖める場合は、エアコンや白熱球等の保温器具を合わせて使用して下さい。
- ・プラスチック等、飼育容器の材質によって、発熱体に接している部分が変色・変形する場合があります。また、家具や飼育容器を置く台に発熱面が接していると、変色する場合がありますので別途、断熱材等で保護するようにして下さい。
- ・発熱出力が少ないため、冬季の水槽の水を保温する事はできません。観賞魚専用の水中ヒーターを使用して下さい。

設置でのご注意

飼育生体や本製品の損傷回避のために必ずお守り下さい。

- ・直射日光の当たる場所や、高温多湿、火気の近く、ホコリが多い場所では使用しないで下さい。
- ・設置は、平坦な場所で行って下さい。
- ・先の鋭い物や飼育容器の底台の角など、1点に圧力が加わる設置はしないで下さい。
特に、飼育容器を積み重ねて使用する場合は、下に断熱材等を敷いた場合にはご注意下さい。発熱面の一部が剥がれる場合があります。



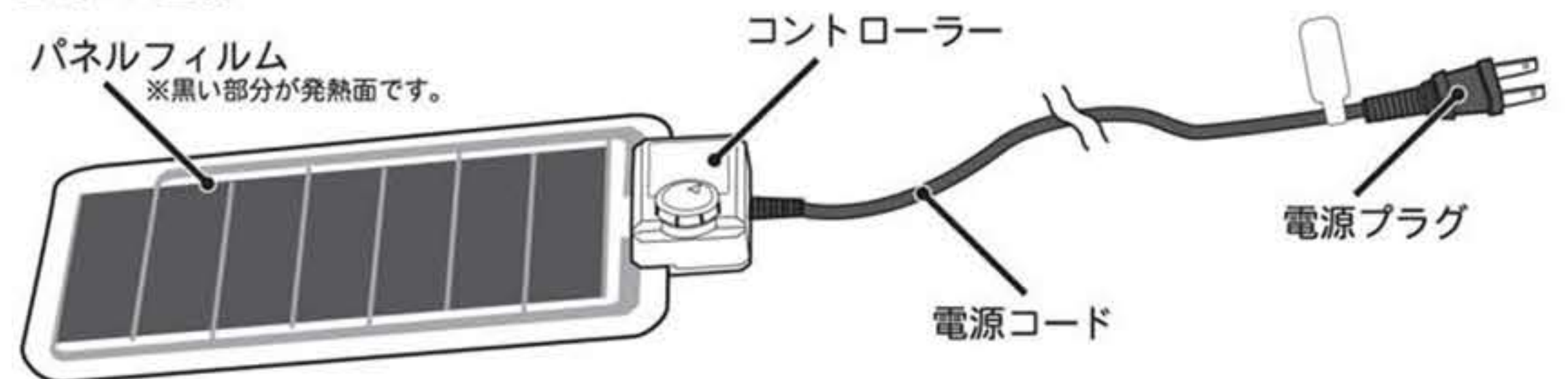
※ 発熱面のフィルムに傷が付いて内部まで達すると水気が浸透して漏電する恐れがあります。
時々、パネルフィルム表面を点検して下さい。

- ・水が掛かった時は速やかに乾いた布でふき取って下さい。特に床下に浸透した水分には注意して下さい。⊗ 1点に圧力をかけない。
- ・パネルフィルム面を傷つけない様にして下さい。
- ・本品を設置したまま飼育容器を動かさないで下さい。パネルフィルムが傷つく恐れがあります。
- ・本品を画鋲等で固定しないで下さい。
- ・密閉した状態で使用しないで下さい。

- ⊗ 発熱面を重ねない。
- ⊗ 容器や発泡スチロール箱の内部に設置して、複数の飼育ケースを保温しないで下さい。容器内の結露や蒸れ等の原因となります。
- ⊗ クワガタムシの菌糸ビンの下に直接する事は絶対に避けて下さい。
- ⊗ 本品を複数でご使用になる場合、互いの発熱面が重ならないように設置して下さい。



各部の名称



コントローラーの温度設定と作動ランプについて



設定温度は、発熱体表面の温度です。保温目的の位置の温度確認は必ず温度計を設置してご確認下さい。

本体の電源プラグをコンセントに差し込んだ時点の外気温が設定温度以下の場合、作動ランプ(赤灯)が点灯します。外気温が高い場合には、点灯しない場合がございます。設置時には一旦、温度設定つまみを「High」の位置に回して作動ランプの点灯をご確認下さい。

設定温度の目安を参考に、設定つまみを回してコントロールする温度値を設定します。外気温が設定温度以下の場合、加熱動作が行われ、作動ランプが点灯します。発熱体表面温度が設定温度に達すると、保温動作になりランプが消灯します。

外気温が低下して、熱の吸収量が大きくなり温度が低くなると再び加熱動作になり、ランプが点灯します。設定温度に対して自己温度制御が行われ、点灯消灯が繰り返されます。

※ 厳寒期など外気や床材の熱吸収量が多い時は設定温度に達するまでに時間が掛かる場合や加熱動作が継続され、ランプが消灯しない場合があります。
 ※ コントローラーは精密機器です。強い衝撃を与えないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。

※ 通電中に設定つまみを回して自在に設定温度を変更することが出来ます。

表面設定温度の目安(室温20℃時)

Low	最低設定値	約25℃
Middle	中間設定値	約35℃
High	最高設定値	約45℃

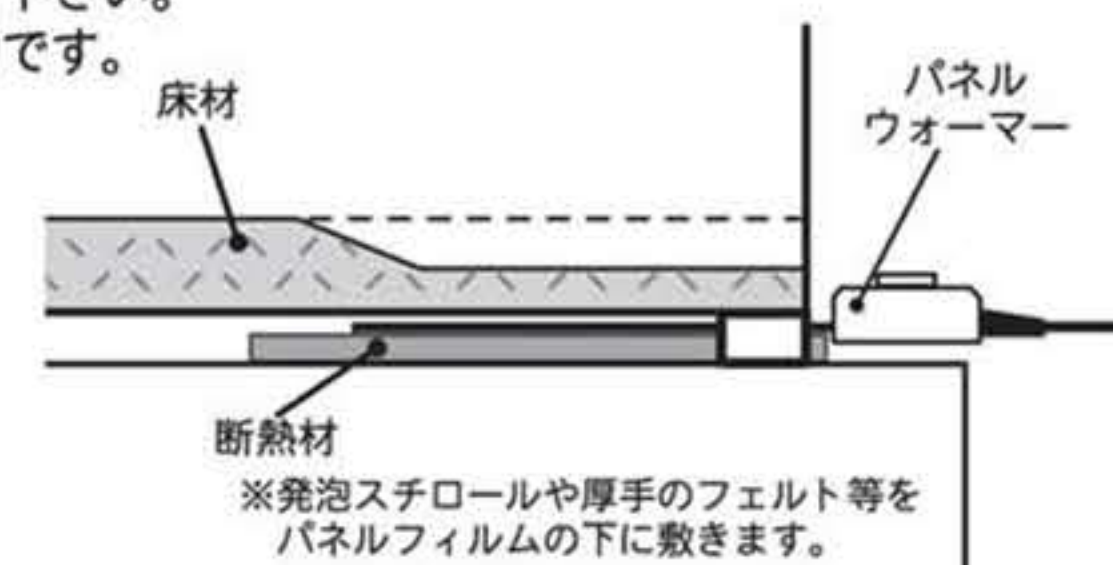
設定値誤差±5℃

効率的な保温のために

- ① 本品を設置する床面や、使用する容器の底部に砂やホコリ等が無いようにキレイにして下さい。
- ② 設置床温度が目標温度に達しない場合は、発熱体の下に発泡スチロールシート等の断熱材を敷いて設置床への熱吸収を減らして、上方への放熱効果を上げて下さい。また、敷き砂やチップ等の床材の厚みを減らす事も効果的です。

※ 発熱面の表面温度と保温位置の温度は異なります。必ず温度計を設置し、希望の温度になっているか、毎日、確認して下さい。

※ 発熱面と容器内の温度は、設置条件により変化します。



メンテナンス上のご注意

本製品の破損を防ぐために必ずお守り下さい。

- ・汚れをとる場合は、タワシ等で強くこすったり、洗剤・薬品等は使用しないで下さい。フィルムが侵され絶縁性が失われます。
- ・水洗いは絶対にしないで下さい。良く絞った柔らかい布で汚れをふき取り、乾かしてからご使用下さい。
- ・ご使用にならない時に保管する場合、丸めたり折り曲げたりしないで下さい。必ず平らな状態で保管して下さい。
- ・長期間留守にされる場合や使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。